



GHS02

注意喚起語

危険

危険有害性情報

H222

引火性がきわめて高い

H229

高圧容器:熱すると破裂のおそれ

注意書き

P102

子供の手の届かないところに置くこと

P210

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

P211

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

P251

加圧容器:使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

P410+P412

日光から遮断し、50℃以上の温度に暴露しないこと。

その他の有害性

人と健康のための危険に関する特別な情報

本製品は蒸気と空気の混合物が爆発/引火を引き起こす可能性があります。

眼への刺激性、反復暴露では皮膚への刺激性のおそれがあります。

3. 組成、成分情報

物質

適用外

概要

有効成分:

合成油、添加剤、固形潤滑剤

噴霧剤:

プロパン/ブタン

危険な成分

CAS No.	EC No.	物質名	wt%	67/548/EEC による分類
67-63-0	200-661-7	2-プロパノール	5 - 10	F R11; Xi R36; R67
74-98-6	200-827-9	プロパン	5 - 10	F+ R12
75-28-5	200-857-2	イソブタン	5 - 10	F+ R12
106-97-8	203-448-7	ブタン	50 - 99	F+ R12
1314-13-2	215-222-5	酸化亜鉛	0.1 < 1	N; R50-53
64742-48-9	265-150-3	炭化水素の混合物, 脱芳香族化	2.4 - 4.9	Xn; R10-52/53-65-66-67
90622-56-3		オクタンとアイソマー	0.1 < 1	Xi R38, Xn R65-R67 F;11; N;50-53

CAS No.	EC No.	物質名	wt%	Regulation (EC) No 1272/2008[CLP/GHS] による分類
67-63-0	200-661-7	2-プロパノール	5 - 10	Flam. Liq. 2, H225 / Eye Irrit. 2, H319 / STOT SE 3, H336
74-98-6	200-827-9	プロパン	5 - 10	Flam. Gas 1, H220 / Press. Gas
75-28-5	200-857-2	イソブタン	5 - 10	Flam. Gas 1, H220 / Press. Gas
106-97-8	203-448-7	ブタン	50 - 99	Flam. Gas 1, H220 / Press. Gas

64742-48-9	265-150-3	炭化水素の混合物, 脱芳香族化	2.4-4.9	Flam. Liquid 3, H226 / Asp. Tox. 1, H304 / STOT SE 3, H336 / Aquatic Chronic 3, H412 Flamm. Liqu.1, H224 / Asp.Tox.1, H304 / Aquatic Acute 1, H400 / Aquatic Chronic 1, H410 / Skin Irrit.2, H315 / STOT SE3, H336
90622-56-3		オクタンとアイソマー	0.1 < 1	

REACH

CAS No.	物質名	REACH 登録番号
74-98-6	プロパン	免除
106-97-8	ブタン	免除

追加情報

適切な取り扱い及び保管をしている場合は特にありません。

4. 応急措置

一般情報

衣類に付着した場合は速やかに着替えて下さい。
衣類を乾燥させる場合は製品を完全に除去して下さい。

吸入した場合

新鮮な空気を確保して下さい。
安全な場所に移動して下さい。
症状が現れた場合は医師の治療を受けて下さい。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、石鹼と水で洗い流して下さい。
有機溶剤を使用しないで下さい。
皮膚の炎症が続く場合は医師の診断を受けて下さい。

眼に入った場合

眼に入った場合は、多量の水で注意深く洗浄して下さい。
症状が続く場合は、医師の手当てを受けて下さい。

飲み込んだ場合

気分が悪い場合は医師に相談して下さい。
無理に吐かせないで下さい。

医師への情報 / 考えられる症状

咳
頭痛
吐き気
意識障害

医師への情報 / 考えられる危険性

嘔吐後に誤嚥の危険性があります。

治療(医師へのアドバイス)

症状に適した治療をして下さい。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡消火剤
粉末消火剤
二酸化炭素消火剤
霧状の水
使ってはならない消火剤
棒状噴射の水

物質または混合物から生じる特別な危険性
有機物の火災ガスは常に呼吸毒として分類する必要があります。

消防士のための特別な保護器具
自給式空気呼吸器を使用して下さい。
消火活動に適した保護具を着用して下さい。

追加情報
火災の危険にさらされた容器は霧状の水で冷却して下さい。
長期間加熱された場合は爆発の危険があります。

6. 漏出の措置

人体に対する注意事項
十分な換気を確保して下さい。
着火源を遠ざけて下さい。
目や皮膚との接触を避けて下さい。

環境に対する注意事項
排水、地下水、河川等に放出しないで下さい。
霧状の水でガス、蒸気、ミストを抑制して下さい。
土壌/地面に製品を放出しないで下さい。

清掃除去方法
作業場を十分に換気して下さい。
回収、又は廃棄物は適切な容器に入れて下さい。
吸着性のある物質(例:砂, おがくず, 汎用バインダー, 珪藻土)で残留物を取って下さい。

追加情報
廃棄のための情報は項目13を参照して下さい。

他の項目の参照
利用可能な情報はありません。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項
十分な換気を確保するために、換気が十分な作業場であっても必要に応じて局所排気装置を使用して下さい。

一般保護対策
眼や皮膚との接触を避けて下さい。
エアロゾルを吸入しないで下さい。

適切な衛生対策
汚染された布は作業服のポケットなどに入れたままにしないで下さい。
化学製品を取り扱う際の一般的な産業衛生規則を遵守して下さい。
作業場での飲食、喫煙、薬の服用は禁止して下さい。

飲食物を作業場に保管しないで下さい。
休憩前や作業終了後には手を洗って下さい。

火災や爆発に対する予防措置

着火源に近づけないで下さい。－禁煙
製品は極めて強い引火性があります。
蒸気は空気と混合することによって爆発性の混合気体を形成します。

保管所と容器への規定

製品の容器に密閉して保管して下さい。

混触禁止物質に関する情報

酸化剤, 自己可燃性物質と同じ場所に保管しないで下さい。

保管状態に関する追加情報

製品の容器に密閉して保管して下さい。
換気の良い冷暗所に保管して下さい。
熱や直射日光から避けて保管して下さい。
乾燥した場所に保管して下さい。
涼しい場所に保管して下さい。
製品に熱が加わると圧力が増加して爆発の危険性が増加します。
推奨貯蔵温度:室温

貯蔵安定性に関する情報

保管期間: 24ヶ月

Storage group 2B
Fire class B

貯蔵安定性に関する情報

保管時間 24ヶ月

8. 暴露防止及び保護措置

モニタリングする必要がある職業暴露限界と成分

CAS No	成分	コード	mg/m ³	ppm		備考
106-97-8	ブタン	8時間	2400	1000	4(II)	DFG
75-28-5	イソブタン	8時間	2400	1000	4(II)	DFG
74-98-6	プロパン	8時間	1800	1000	4(II)	DFG
67-63-0	2-プロパノール	8時間	500	1000	2(II)	DFG, Y
64742-48-9	脂肪族化合物	8時間	1000			8h-Mittel, TRGS 900 /901

追加情報

この情報は有効性のある文献を基にしています。

呼吸器の保護

必ず使用する必要はありません。

手の保護

複数の物質からなる調剤剤であるため、手袋に使用されている材料の耐性を予め決めることはできません。
そのため、製品を使用する前に手袋の耐性を必ず確認して下さい。
経時劣化による手袋の耐久性は力学的負荷に依存するため別途確認して下さい。
長期間及び繰り返し皮膚に接触する場合は PVC 手袋を着用して下さい。

眼の保護

飛沫する場合は保護眼鏡

その他の保護

一般的な化学工業用の作業服

システム設計上の追加情報

十分に換気された場所で使用して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

基礎的な物理化学性状

形状 エアロゾル	色相 黒色	臭い 石油(ガソリン)に近い
-------------	----------	-------------------

重要な健康、安全及び環境に関する情報

	値	試験方法	備考
pH			適用外
沸点	適用外		エアロゾル
融点/凝固点	確定していない		
引火点	< 0°C		有効成分+噴霧剤
気化率	確定していない		
可燃性(固体)	確定していない		
可燃性(ガス)	確定していない		
自然発火点	確定していない		
自己発火温度			不明
爆発下限界濃度	1.7 Vol-%		
爆発上限界濃度	11.1 Vol-%		
蒸気圧 20°C	0.7 - 3 bar		エアロゾル缶の圧力
密度 20°C	0.7 - 0.73 g/cm ³		有効成分+噴霧剤
蒸気密度	確定していない		
水への溶解性			難溶
他の物質への溶解性	確定していない		
分配係数 n-オクタン/ 水 (log P OW)	確定していない		
分解温度	確定していない		
粘度	確定していない		
酸化性	なし		
爆発性	使用中及び使用後に可燃性混合物を形成する危険があります。 50°C 以上に加温された場合、破裂する危険性があります。		

追加情報

蒸気は空気より重い。
引火性液体

10. 安定性及び反応性

反応性

利用可能な情報はありません

化学安定性

利用可能な情報はありません

有害な反応の可能性

利用可能な情報はありません

避けるべき条件

容器内の蒸気圧が高いため、温度が上昇すると破裂する可能性が上昇します。
本製品を引火点以上に加温した場合、及びスプレー/ミスト状になった場合、空気と混合すると可燃性混合物が形成される可能性があります。

避けるべき物質

酸化剤との反応

危険な分解生成物

適切な取扱い及び保管をしている場合は特にありません。

熱分解

備考：仕様書通りに使用した場合は分解しません。

11. 有害性情報

急性毒性/刺激性/感作性

	値	生物	備考
LD ₅₀ 急性毒性 経口			確定していない
皮膚刺激			長期又は繰り返し接触する場合、皮膚刺激が生じる可能性がある
眼への刺激性	眼刺激が生じる可能性がある。		飛沫が目に入った場合
皮膚感作性	感作性は知られていない。		

使用上の経験

回復または長期間皮膚に接触した場合、炎症を起こす可能性があります。

追加情報

利用可能な毒性情報はありません。
本製品は directive 67/548/EEC (従来法) の判定基準を基に分類しました。

12. 環境影響情報

毒性
環境への影響

	値	試験方法	検証
魚			確定していない

生分解性

生物濃縮の可能性

本製品として試験を実施していません。
本製品は水への溶解性が低いため、生物学的利用はほとんどないと考えられています。

土壌中の移動性

利用可能な情報はありません。

PBT 及び vPvB アセスメントの結果

利用可能な情報はありません。

下水処理場

各地域の法規制に従って処理する前に、製品を排水として廃棄しないで下さい。

一般的な規制

利用可能な毒性情報はありません。
 本製品の漏出物を環境中に排出しないで下さい。
 本製品を水生環境中に排出しないで下さい。

13. 廃棄上の注意

製品の推奨

各地域の法令に従って廃棄して下さい。

容器の推奨

完全に空にした容器は再利用できる場合があります。
 完全に空になり減圧されたスプレー缶: EWC 15 01 04
 ワンウェイ容器は各地域の法令に従って廃棄して下さい。

一般情報

正しい分類の最終責任者は廃棄をする方です。EWC では同じ廃棄物でも異なる起源に対しては異なるコードが付けられています。

14. 輸送上の注意

	ADR/RID	IMDG	IATA-DGR
UN 番号	1950	1950	1950
UN 海上輸送	エアロゾル	エアロゾル	エアロゾル、可燃性
陸上輸送	2.1	2.1	2.1
パッキンググループ	-	-	-
環境有害性	なし	なし	なし

使用者に対する特別な注意事項

利用可能な情報はありません。

MARPOL 73/78 の Annex II 及び IBC コードに従ったばら積の輸送

利用可能な情報はありません。

陸上輸送 ADR/RID

ハザードラベル 2.1
 トンネル制限コード D
 分類コード 5F
 少量の場合は考慮されません。

海上輸送 IMDG

ラベリング: エアロゾル UN 1950

航空輸送 ICAO/IATA-DGR

UN-4G/Y ダンボール箱が必要

輸送に関する追加情報

数量に注意して下さい。

15. 適用法令

物質または混合物のための安全、健康、環境の特別な法律/規制

VOC 標準

VOC 含有量: 81%

国際規制

その他の規制, 制限, 禁止規制

注意: TRG 300 "Aerosole" (GER)
 Water hazard class 1 Mixture-WGK according to VwVwS (GER)
 干渉/批評の法規制 Annex I, No. 11

化学安全性アセスメント

混合物の化学安全性アセスメントは要求されていません。

日本の法律

消防法 危険物第4類特殊引火物 (製品として)

16. その他の情報

訓練方法

このSDSを参照して下さい。

使用と制限の推奨

国内, 国外に関する化学物質の法規制を遵守して下さい。
 警告情報を遵守し指示に従って使用して下さい。

追加情報

本SDSにある情報は、現在知りうる知識を基に、安全の観点から当該製品について述べたものです。
 本製品の原材料は全て TSCA に記載されています。
 本製品の原材料は全て DSL に記載されています。
 カタログを参照して下さい。

情報源

原料のSDS

項目3において記載された R/H- phrases の表現(製品の分類ではありません)

R10	引火性がある。
R11	強い引火性がある。
R12	極めて強い引火性がある。
R36	眼への刺激性がある。
R38	皮膚に刺激性がある。
R50/53	水生生物に毒性、水生環境中で長期的に有害な作用を及ぼすおそれがある。
R52/53	水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作用をおよぼすおそれがある。
R65	有害: 飲み込むと肺障害を引き起こすことがある。
R66	暴露の繰返しにより皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。
R67	蒸気は嗜眠状態およびめまいをおこすことがある。
H220	極めて可燃性又は引火性の高いガス
H222	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
H224	極めて引火性の高い液体及び蒸気
H226	引火性液体及び蒸気
H229	高压容器: 熱すると破裂のおそれ
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H315	皮膚刺激
H336	呼吸器への刺激のおそれ
H400	水生生物に非常に強い毒性
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

記載内容の問い合わせ先

会社名 フックスジャパン株式会社
住 所 三重県伊賀市大内字三郎谷408-3
担当部門 技術部
電話番号 0595-20-1114
ファックス番号 0595-20-1056

改訂履歴

作成 2014年 1月17日(翻訳)
改訂 2015年 8月7日(改訂)

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発見や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定事項にご利用される場合は、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

また、現場責任者は取扱いについて十分に現場作業の方へ教育を行って下さい。

本SDSは、輸入先の英文SDS (gleitmo 100 S SPRAY: Revision 08.05.2015 (GB) Version 2.6)を基に作成しております。

日本の消防法については記載をしていますが、その他の日本の法規制には対応しておりません。